

政策・施策体系骨子(案)と委員意見対比表【発展分野】

政策	施策	主な取り組み	委員意見
1 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	(1) 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進	① 確かな学力の育成	大分県の教育予算は九州内でも低い方と思う。学力だけでなく子どもの情操教育を支えていけるような施策立案、予算配分をお願いしたい。
			点数だけが学力ではないと言われるが、小学校の義務教育については、点数＝学力の認識はあっていい。
			大学では問題発見・解決能力を含む基礎学力を測るテストがあり、テスト結果は就職先検討等に使用されている。これからの大学の授業は、「学生が自分たちで考え能動的に学習させるようにしなさい」と言われているが、小・中・高という縦軸で能力を継続的に高める取組も必要。
			子供・学生の基礎学力は二極化しており、そのギャップをどのようにして埋めていくかが課題。
			情報技術の発展に伴うリスク、セキュリティ、情報モラル教育が重要。情報技術に依存するのではなく、自分の能力をどう拡張させるのかといった視点での教育やモラルの啓蒙がポイントになる。
		② 豊かな心の育成	大分県の教育予算は九州内でも低い方と思う。学力だけでなく子どもの情操教育を支えていけるような施策立案、予算配分をお願いしたい。
			子どもたちがアートに触れることでコミュニケーション能力や表現力等が身につく、学力向上など他分野にも良い影響を与える可能性がある。
	③ 健康・体力づくりの推進	④ 幼児教育の充実	子ども達が外遊びできるような場所がなくなってきているので、子ども達が自由に遊べる環境づくりをお願いしたい。
			「3つ子の魂百まで」と言うように、幼児期の教育が最も重要。まず幼稚園の3年間をしっかりと育てて小学校へ送り出さないとその先に繋がっていない。子どもを育てるためには家庭を育てることが重要。
	⑤ 高校生の進学力・就職力の向上	⑥ 特別支援教育の充実	教育の芽だしは幼児教育。それが小学校にもつながっていく。
			子どもの就職率は上がっているが定着率はどうか。例えば県の公共工事等の入札のうち何%かを企業の人材育成費用に充てるような要件を講じるなど、あらゆる事業において「人材育成」という費目を計上してもよいのではないか。
	(2) グローバル人材の育成	① 挑戦意欲と責任感・使命感の育成	「地縁、支援、応援」という3つの「えん」という言葉がある。地域で人材を作っていくだけでなく、行政が金銭的、制度的な支援を行い、加えて外部からの応援が必要になってくる。これら3つの「えん」を繋いでローカルで活躍できる人材を育て、グローバルな世界に送り出していくことが必要。
			グローバル人材の育成について、語学力だけでなく、様々な経験・知識・興味を持たせるという視点が必要。
		② 多様性を受け入れ協働する力の育成	グローバル人材について、NPO等地域コミュニティを使って教育し、その人材を発展に結びつけることが教育の分野でもできないか。
「地縁、支援、応援」という3つの「えん」という言葉がある。地域で人材を作っていくだけでなく、行政が金銭的、制度的な支援を行い、加えて外部からの応援が必要になってくる。これら3つの「えん」を繋いでローカルで活躍できる人材を育て、グローバルな世界に送り出していくことが必要。			
			グローバル人材の育成について、語学力だけでなく、様々な経験・知識・興味を持たせるという視点が必要。
			グローバル人材について、NPO等地域コミュニティを使って教育し、その人材を発展に結びつけることが教育の分野でもできないか。

政策	施策	主な取り組み	委員意見	
1 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	(2) グローバル人材の育成		「地縁、支援、応援」という3つの「えん」という言葉がある。地域で人材を作っていくだけでなく、行政が金銭的、制度的な支援を行い、加えて外部からの応援が必要になってくる。これら3つの「えん」を繋いでローカルで活躍できる人材を育て、グローバルな世界に送り出していくことが必要。	
		③大分県や日本への深い理解の促進	グローバル人材の育成について、語学力だけでなく、様々な経験・知識・興味を持たせるという視点が必要。	
			グローバル人材について、NPO等地域コミュニティを使って教育し、その人材を発展に結びつけることが教育の分野でもできないか。	
			人材育成について、世界だけでなく地域へチャレンジするという視点も必要ではないか。	
		④知識・教養に基づき、論理的に考え伝える力の育成		
		⑤英語力(語学力)の育成		
	(3) 安全・安心な教育環境の確保		①いじめ対策の強化・充実	先生がいじめや子どもの不満について公平にものを見て解決につなげることができていないケースが多いように感じる。 情報技術の発展に伴うリスク、セキュリティ、情報モラル教育が重要。情報技術に依存するのではなく、自分の能力をどう拡張させるのかといった視点での教育やモラルの啓蒙がポイントになる。
			②不登校対策の強化・充実	公民館・図書館を活用し、地域で子供、ひきこもり等の弱者を支えるシステムをつくっていただきたい。 学校で不登校となった生徒がそのまま卒業した場合に、そのまま関係が切れてしまうのではなく地域のサポートセンターに繋いでいくなど、不登校生徒がそのままひきこもりやニートにならないよう継続的な支援が必要。
			③安全・安心な学校づくりの推進	
	(4) 信頼される学校づくりの推進		①目標達成に向けた組織的な取り組みの推進	いじめや不登校については、全くなくすというよりも、学校・地域・家庭が一緒になって対応・解決するという環境をつくるのが大事ではないか。
			②地域とともにある学校づくりの推進	
			③魅力ある高等学校づくりの推進	
			④教職員の意識改革と資質能力の向上	先生がいじめや子どもの不満について公平にものを見て解決につなげることができていないケースが多いように感じる。 学級担任について、子供や保護者とのコミュニケーション等を考慮すると、正規・非正規ではなく、3年程度の実務経験などを経て担任になれるような制度があるといい。
			⑤魅力ある私立学校づくりへの支援	
	(5) 地域とともに歩む大学等高等教育の推進		①県立看護科学大学の魅力づくり	
			②県立芸術文化短期大学の魅力づくり	
			③地域課題解決に向けた県内大学等との連携推進	大学生の就職について、企業は効率化が最優先で人材を育成する時間が無い一方で大学側は実学に乏しいため、その部分を行政が間を取り持つことが必要ではないか。

政策	施策		主な取り組み	委員意見
1 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	(6)	青少年の健全育成	①青少年を育てる地域・家庭づくり	「青少年を育てる地域・家庭づくり」と「コミュニティの協働による家庭教育支援の推進」の取組について、互いに連携・協働して施策の効果を高めていって欲しい。 子ども達が外遊びできるような場所がなくなってきているので、子ども達が自由に遊べる環境づくりをお願いしたい。
			②豊かな心をはぐくむ体験活動や読書活動の推進	青少年の問題解決能力の低下等に対応するため、世代を越えて様々な社会活動に参加することが当たり前になる仕組みづくりが必要ではないか。
			③青少年や家庭への支援の充実	学校で不登校となった生徒がそのまま卒業した場合に、そのまま関係が切れてしまうのではなく地域のサポートセンターに繋いでいくなど、不登校生徒がそのままひきこもりやニートにならないよう継続的な支援が必要。
			④少年非行防止対策や支援活動の推進	学校や行政、家庭だけに頼ることなく地域全体で若者たちのやり直しがきくような地域、社会づくりが必要。
			⑤福祉犯の取締りと被害少年に対する保護活動の推進	大分のひきこもりとニートの数がそれぞれ5千人いるということをニュースで見たが、生産年齢人口が20万人減少する中でこの1万人という数は大切だと思う。このような若者達にもう1歩踏み込んで地域に出てきていただくような施策が必要。
	(7)	県民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援	①多様な学習活動への支援	美術館や図書館の無償での開放や招待などによりできるだけ垣根を取り払い、美術館や図書館が近くにない子ども達等にも参加しやすいような仕組みづくりをお願いしたい。
			②社会全体の「協育」力の向上	「地縁、支援、応援」という3つの「えん」という言葉がある。地域で人材を作っていくだけでなく、行政が金銭的、制度的な支援を行い、加えて外部からの応援が必要になってくる。これら3つの「えん」を繋いでローカルで活躍できる人材を育て、グローバルな世界に送り出していくことが必要。 地域の自治活動などに関わらないまま成長する青少年が多い。地域を担う人材を育成するためには、自らの地域のことは自らで決めて行動し責任を取るという意識を醸成するため、学校、家庭、地域活動・社会体験を通じて学ばせていくことが必要。
			③コミュニティの協働による家庭教育支援の推進	公民館・図書館を活用し、地域で子供、ひきこもり等の弱者を支えるシステムをつくっていただきたい。
	2 芸術文化による創造県おいたの推進	(1)	芸術文化の創造	①多彩で優れた芸術文化に触れる機会の提供
②県民参加による芸術文化活動の推進と芸術文化を創造し支える人づくり				美術館や図書館の無償での開放や招待などによりできるだけ垣根を取り払い、美術館や図書館が近くにない子ども達等にも参加しやすいような仕組みづくりをお願いしたい。
③次代の芸術文化の担い手づくり				県内の小学生6万人を美術館に招待する予定だが、美術館だけでなく（音響設計という工学的な要素も含む）劇場の方も併せてPRしてほしい。
④県立美術館における鑑賞・創作機会の提供				素晴らしい絵画やスポーツを見ることで、子供達は刺激を受け、多様な価値観を育むことができる。30年後、今の子供達がどう受け止めるのかを念頭に置いて、計画を策定していただきたい。

政策	施策		主な取り組み	委員意見		
2 芸術文化による創造県おおいたの推進	(2)	芸術文化ゾーンを核とした取組	①芸術文化ゾーンを核としたネットワークの形成	<p>「おんせん県おおいた」は親しみがあり県外にもアピールできているので、「創造県おおいた」「教育県おおいた」についても、名称はキャッチーだが実施内容は真剣に取り組んでいるような工夫をして欲しい。</p> <p>クリエイティブシティ化は全ての政策に横串を刺すイメージ。クリエイティブ大分という視点を長計の柱に据えていければと考えている。</p> <p>県内に増えている芸術家同士のネットワークづくりが重要。</p>		
			②芸術文化の創造性を生かした行政課題への対応	<p>「おんせん県おおいた」は親しみがあり県外にもアピールできているので、「創造県おおいた」「教育県おおいた」についても、名称はキャッチーだが実施内容は真剣に取り組んでいるような工夫をして欲しい。</p> <p>クリエイティブシティ化は全ての政策に横串を刺すイメージ。クリエイティブ大分という視点を長計の柱に据えていければと考えている。</p> <p>高齢者にとってアートは生きがいにつながると思うが作品を展示・発表できる場が少ないので、芸術文化ゾーンにおいて高齢者の作品を発表できる機会をつくって欲しい。</p> <p>文化財・伝統文化の保存について、基盤となるコミュニティが厳しい状況になっているため、地域の伝統文化に新しい切り口を追加し、どのように残していくか能動的に考えていくべき。</p>		
			③創造性を活かした地域づくりの推進	<p>「おんせん県おおいた」は親しみがあり県外にもアピールできているので、「創造県おおいた」「教育県おおいた」についても、名称はキャッチーだが実施内容は真剣に取り組んでいるような工夫をして欲しい。</p> <p>クリエイティブシティ化は全ての政策に横串を刺すイメージ。クリエイティブ大分という視点を長計の柱に据えていければと考えている。</p> <p>県立美術館で地方の工芸作家やアーティストの作品が展示、販売されると思うが、それを契機に国東等の地方のギャラリー等にも人が流れていくような動線ができればいいと思う。</p> <p>芸術文化については、国東半島の神仏習合や中津・竹田の城下町等大分にある潜在的な力をもっと掘り起こし、その力を発揮させていくことが必要。</p> <p>文化財・伝統文化の保存について、基盤となるコミュニティが厳しい状況になっているため、地域の伝統文化に新しい切り口を追加し、どのように残していくか能動的に考えていくべき。</p> <p>現代アート・アーティスト・文化が注目を浴びている中、地域の歴史や文化財の情報発信もできればと考えている。</p> <p>各地域の問題をその地域でどのように解決していくか重要で、ネットワークコミュニティの考え方は文化の面でも必要な視点。</p>		
			(3)	文化財・伝統文化の保存・活用・継承の推進	①文化財・伝統文化の保存	<p>文化財・伝統文化の保存について、基盤となるコミュニティが厳しい状況になっているため、地域の伝統文化に新しい切り口を追加し、どのように残していくか能動的に考えていくべき。</p> <p>伝統文化の保存・活用をグローバルという視点で捉えてもいいのではないかな。</p>
					②文化財・伝統文化の活用と情報発信	<p>県内各地の伝統文化に興味を持って学べる機会が必要。</p> <p>現代アート・アーティスト・文化が注目を浴びている中、地域の歴史や文化財の情報発信もできればと考えている。</p> <p>伝統文化の保存・活用をグローバルという視点で捉えてもいいのではないかな。</p>
					③文化財・伝統文化の継承	

政策	施策		主な取り組み	委員意見	
3 スポーツの振興	(1)	県民スポーツの推進	①生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	総合型地域スポーツクラブの創設・育成を、強力に推進していただきたい。	
			②県民スポーツを支える環境づくりの推進		
			③指導者の養成・確保と関係団体との連携の推進		
	(2)	世界に羽ばたく選手の育成	①ジュニア期からの一貫指導体制の推進		
			②優秀選手の育成・強化		
			③スポーツを支える人材の養成		
			④世界を目指す競技力を支える環境の整備		
	(3)	スポーツによる地域の元気づくり	①2019年ラグビーワールドカップ大会の成功		
			②国際スポーツ大会等の誘致	スポーツによる地域活性化に関して、県の文化振興基本方針の中で充実させる必要があり、そのことが今後の国際大会誘致においても有利に働くと考えられる。 国際大会誘致も大変だが誘致後に成功に導くことが大事であり、そのためにも国際的な大会等に大分県として積極的に関与していくべき。	
			③スポーツへの関心の向上とスポーツツーリズムの推進	スポーツによる地域活性化に関して、県の文化振興基本方針の中で充実させる必要があり、そのことが今後の国際大会誘致においても有利に働くと考えられる。 地方版総合戦略の中で、地域スポーツコミッションをしっかり位置づけて欲しい。	
	4 多様な県民活動の推進	(1)	未来を担うNPOの育成と協働の推進	①NPO・ボランティアの育成・活動支援	
				②協働に向けた支え合いの仕組みづくり	NPOはボランティアの位置付けと思われているが、協働という立場をよく理解してほしい。政策企画という目に見えにくい部分にも予算化していただけるような配慮をしてほしい。 県民サービスの向上等につながる提案をしたNPOに対しては、その提案が実現できるような管理、運営等の部分も含めて支援してほしい。
③NPO活動と協働の県民理解・参加の促進					
5 九州の東の玄関口としての拠点化の推進	(1)	人の流れ、物の流れの拠点づくり	①人の流れの拠点づくり	大分市でイベント・コンサート等が21時に終わると福岡に帰る交通手段がなく、県内でも姫島の人々はフェリーに間に合わないのが、JR、バス等の整備について、行政からもアプローチをお願いしたい。	
			②物の流れの拠点づくり		

政策	施策		主な取り組み	委員意見
5 九州の東の玄関口としての拠点化の推進	(2)	拠点化に向けた交通ネットワークの強化	①広域道路交通網の整備推進	大分空港の有効活用として、空港間の連携、広域的な人の移動というの議論の対象になると思う。その他、南海トラフ地震を見据えたバックアップルートの確保ということも視野に入れておかないといけない。
				大分に来た観光客が県内各地を周遊するためには、郊外も含めて時系列的に道路整備をする必要がある。
				県外の旅客だけでなく、今後の超高齢化社会において、県民が円滑に移動できる環境を整備していくことが重要。
			②広域公共交通ネットワークの充実	国東半島を訪れた方が気持ちよくスムーズに廻れるよう、国東の山々を巡る道路の整備をしっかりとりたい。
				大分空港の有効活用として、空港間の連携、広域的な人の移動というの議論の対象になると思う。その他、南海トラフ地震を見据えたバックアップルートの確保ということも視野に入れておかないといけない。
				県外の旅客だけでなく、今後の超高齢化社会において、県民が円滑に移動できる環境を整備していくことが重要。
③東九州新幹線整備に向けた取組の強化と太平洋新国土軸構想の推進	大分市でイベント・コンサート等が21時に終わると福岡に帰る交通手段がなく、県内でも姫島の人はフェリーに間に合わないの、JR、バス等の整備について、行政からもアプローチをお願いしたい。			

政策・施策体系骨子(案)と委員意見対比表【安心分野】

政策	施策		主な取り組み	委員意見
7 地域社会の維持・活性化	(3)	暮らしを支える地域交通の確保	①ネットワーク・コミュニティの形成を支える道づくりの推進	
			②生活交通の確保・維持	県外の旅客だけでなく、今後の超高齢化社会において、県民が円滑に移動できる環境を整備していくことが重要。
			③快適な都市空間の形成	県外の旅客だけでなく、今後の超高齢化社会において、県民が円滑に移動できる環境を整備していくことが重要。
				国東半島を訪れた方が気持ちよくスムーズに廻れるよう、国東の山々を巡る道路の整備をしっかりとりたい。
			④安全・安心で利便性の高い公共交通サービスの充実	

政策・施策体系骨子(案)と委員意見対比表【活力分野】

政策	施策		主な取り組み	委員意見
2 県民の暮らしを支える産業の振興とごとの確保	(6)	急速に進化する情報通信技術の普及・活用	①県内津々浦々における快適な情報通信環境の提供	大分が観光分野でアピールしていく上で、特に公共施設や観光施設におけるWi-Fi環境整備による利便性の向上が重要。
				大分県は情報インフラの整備は進んでいるが、これからは利活用等ソフト面での対応が重要になってくると思う。ブロードバンド普及率もかなり進んできているが、ICTの技術を役立たせるためには、物理的に厳しい地域に普及させることが一番のポイントと思う。
				Wi-Fiの整備が進むなかで、訪れた外国人が大分の良さを母国に向けて発信してくれることに期待したい。
			②ビッグデータや3D造形等の活用による新ビジネスへの支援	ITの整備と同時に、使用する技術を向上させていくことも重要。大分県には多くのコンテンツがあり、3Dプリンタ等でデジタルデータとしてアーカイブ化し、大分の文化を発信することに活用してはどうか。
			③ICTを活用した行政手続きの効率化とサービスの向上	情報技術の発展に伴うリスク、セキュリティ、情報モラル教育が重要。情報技術に依存するのではなく、自分の能力をどう拡張させるのかといった視点での教育やモラルの啓蒙がポイントになる。